

海洋理工学会平成7年度春季大会

期 日：平成7年4月4日(火)5日(水)

会 場：学士会館

(東京都千代田区神田錦町3-28 電話 03-3292-5931)

主 催：海洋理工学会

協賛学会：日本海洋学会，日本水産学会，日本気象学会，日本造船学会，日本機械学会，応用物理学会，海洋調査技術学会，航空宇宙水産海洋研究会，電子情報通信学会，テレビジョン学会，計測自動制御学会，電気学会

参加費：一般3,500円，一般学生2,000円，正会員1,500円，学生会員1,000円

プログラム

4月4日(火) 9:30~17:40

9:30~12:00 [1] 公開講座 「地球環境とエネルギー」

コンビーナ 根本俊雄(明治大工)

1. 地球温暖化と世界経済モデル実験 杉森康宏(海洋理工学会長)
2. 環境から見た新エネルギー技術とその現状 本間琢也(NEDO 理事)
3. 環境から見た省エネルギー技術とその現状 富山朔太郎(電総研所長)

13:00~17:40 [2] シンポジウム 「Marine-GIS (Geographic Information System)

—海洋研究のための高精度データの解析手法—

コンビーナ 久保田雅久(東海大海洋・東大気候セ) 斉藤誠一(北大水産) 柴崎亮介(東大生産研) 杉森康宏(東海大海洋・千葉大環リモセンセ) 高木幹雄(東大生産研)

- 13:00~13:05 1. 主旨説明 久保田雅久(東海大海洋・東大気候セ)
- 13:05~13:25 2. GISの歴史とその展望 久保幸雄(慶応大環情)
- 13:25~13:50 3. GISの概念と理論 柴崎亮介(東大生産研)
- 13:50~14:50 4. 陸・海洋域に関するデータベースの現状
- 1) 国土地理院のデータベース 津澤正晴(国地院)
 - 2) 日本海洋データセンターのデータベース 清水良夫(日本海洋データセンタ)
 - 3) 水産庁の現状 瀬川恭平(中央水研)

14:50~15:00 休憩

15:00~15:20 5. Internetによるデータベース索引の将来像

魚瀬尚郎(学術情報センタ)

15:20~16:40 6. 国内外のM-GISの開発例

1) Reviews of GIS- Coastal Zone Ecosystem and El Niño Effects -

R. Bradbury (National Resource Information Centre, Australia)

2) 気象庁海洋データ同化システムについて

桜井邦雄(気象庁)

3) 海洋GISの開発例

呉 永欣 (SAT)

16:40~17:10 7. 海洋GIS構想の提案

柴崎亮介 (東大生産研) 斉藤誠一 (北大水産) 久保田雅久 (東海大海洋・東大気候セ)

17:10~17:40 8. 総合討論

パネラー: 海洋物理学よりみたGIS

深澤理郎 (東海大海洋)

海洋生物学よりみたGIS

才野敏郎 (名大水研)

水産学よりみたGIS

中田英昭 (東大海洋研)

18:00~19:30 [懇親会]

4月5日 (水) 9:30~17:30 一般講演

A会場

9:30~10:10 Session A1: 生態系モデル

座長 荒井修亮 (京大農)

A11. 生態系モデルを用いた人工海浜における物質循環の評価

畑 恭子、蔵本武明、大島 巖 (新日気) 中田喜三郎 (資環研)

A12. 人工護岸の生態系モデルの開発

大島 巖、蔵本武明、畑 恭子 (新日気) 中田喜三郎 (資環研)

10:10~11:10 Session A2: 海洋物理

座長 深澤理郎 (東海大海洋)

A21. Nudgingを用いた一次元静振のデータアシミレーション

岸本泰治、灰塚正隆、久保田雅久 (東海大海洋)

A22. インバースメソッドの改良とその応用

雨池健一、深澤理郎 (東海大海洋)

A23. 栄養塩を用いた北太平洋の水塊流動の把握

渡辺 豊 (資環研) 斉藤千鶴 (海科技セ) 嶋本品文 (KEEC) 原田 晃 (資環研)

11:10~12:10 Session A3: 環境解析

座長 坂本 亘 (京大農)

A31. 海洋生物の硬組織に刻まれた縞々の解析

荒井修亮、荒川純平、坂本 亘 (京大農)

A32. 海洋環境における原油資化菌密度と水質指標間の相関分析

後藤雅史 (海洋バイオ研清水) 浅海正吉 (海洋バイオ研釜石)

A33. 海洋堆積物の有機炭素窒素分析のための酸処理方法について

安井久二 (日本海洋生物研究所)

12:10~12:30 海洋理工学会第2回総会

12:30~14:00 昼食 & ポスターセッション

14:00~15:40 Session A4 : センサー 座長 角井嘉美 (電子技術総合研究所)

- A41. ウェスカム計測システム 岩浪英二 (中日本航空)
- A42. 海洋光ファイバ流速センサに関する水槽実験
飯高 弘、佐藤宗純、後藤 学、橋本義浩 (電総研) 根本俊雄 (明治大工)
- A43. Multi-path Inverted Echosounder データ処理の自動化の検討
中西昭博、竹内俱佳、永井 豊 (電気通信大)
- A44. 200Hz トモグラフィ・システムによる2次元水温分布の計測
中村敏明、中埜岩男、土屋利雄、中西俊之、海法宇治 (海科技セ) 賀谷彰夫 (沖電気)
- A45. 海洋音響トモグラフィデータの解析技術
伊藤隆夫、鴨志田隆、賀谷彰夫 (沖電気) 中埜岩男、藤森英俊、中村敏明 (海科技セ)

15:40~17:00 Session A5 : ブイ 座長 竹内俱佳 (電通大)

- A51. 定点保持ブイの開発に向けた陸上試験機の開発
石井 憲、澤田浩一、高尾芳三 (水工研)
- A52. 自己移動型ブイの開発
千賀康弘 (東海大海洋) 永海義博 (ヤマハ)
小梨昭一郎 (アレック電子) 小森茂典 (ゼニライトブイ)
- A53. 定期的にデータ送信を行う深層水没式係留ブイの開発
金子郁雄 (気象庁) 中村拓朗 (エスイーエイ)
- A54. GPS 搭載型アルゴス漂流ブイに関する研究
中村 朗、伴 哲也、堤 正之 (東海大海洋)

P会場

13:00~14:00 Session P : ポスターセッション 座長 秋山正寿 (東海大海洋)

(展示は9:30~16:00まで行います)

- P1. 東京湾の水質モデルについて-II 堀口文男、中田喜三郎 (資環研)
- P2. 海水栄養塩モニター 川本和信 (ブラン・ルーベ)
- P3. 動物プランクトンの自動識別のための特徴選択について
秋葉龍郎、佐々木崇、中野 洋、角井嘉美 (電総研大阪ライフエレ研セ)
- P4. CCD カラーカメラを用いた海色モニタリングシステム
鈴木伸子、千賀康弘 (東海大海洋) 中村俊昭 (トヨマリテック) 田中裕作 (東洋建設)
- P5. 漁船で使用する地球環境モニタリング用大気・海水採取装置
鈴木秀彌 (海洋水産資源開発セ) 松下 博、田淵清春、長友洪太、貞包弘之 (水産大学校)
長谷川勝男 (水工研) 永井則安 (日本エヌ・エフ・エス)
- P6. 応用地図情報システム MapInfo を利用した海洋データベース化
相馬 久 (三井造船システム技研)

P7. 風浪発達による海面境界過程の研究

趙 朝方、伊東永徳、秋山正寿、杉森康宏（東海大海洋）

P8. JERS/SAR による波浪解析手法の研究

秋山正寿、趙 朝方（東海大海洋）

P9. 大船渡湾の物質循環シミュレーション

寺澤知彦、田口浩一（CTI）中田喜三郎（資環研）

B会場

9:30~10:50 Session B1 : 海洋データベース

座長 大塚 清（海科技セ）

B11. 海洋観測データの管理・提供システム 坪内千園、大塚清、黒田芳史（海科技セ）

B12. 海洋観測データの高度総合解析システムの開発研究（序報）

水野孝則、石井正好、信太邦之、桜井邦雄（気象庁）蒲地政文（気象研）

B13. HDFによる海洋情報の統合化に関する研究

後藤真太郎（金沢工大）嶋林宏一（金沢工専）池野裕一（金沢総研）

B14. 海洋科学分野における国際的な研究環境の整備

相馬 久（三井造船）

10:50~11:10 休憩

11:10~12:10 Session B2 : 可視熱赤外域リモートセンシング

座長 岡田喜裕（東海大海洋）

B21. 熱赤外面像における雲域下の海面水温データの客観解析を用いた推定

久保田雅久、秋吉孝紀（東海大海洋）

B22. 可視域長波長帯を用いた海上風速推算手法に関する一考察 II. 大気-海洋系モデルによる風速推算シミュレーション

菅野 進（芙蓉海洋開発）

B23. 赤道直下西部太平洋及び赤道湧昇帯における植物プランクトンと水中光学モデルについて

浅沼市男、松本和彦、河野 健、青山道夫（海科技セ）

14:00~14:40 Session B3 : 衛星データシステム

座長 浅沼市男（海科技セ）

B31. 衛星データ（水温・水色）小規模情報システムの試作

澤 卓哉、久胡隆司、木村典嗣、岡田喜裕、杉森康宏（東海大海洋）

B32. 漁業情報サービスセンターに於ける衛星データ解析システムの開発について

斉藤克弥、藤田 真、為石日出生、岩崎寿男（漁業情報サービスセンター）

14:40~16:40 Session B4 : マイクロ波リモートセンシング

座長 今脇資郎（九大）

B41. マイクロ波高度計軌道下のジオイドの高精度化

木下秀樹、道田 豊、西田英男、寄高博行（水路部）

- B42. TOPEX/POSEIDON 高度計データを利用した海面力学高度の算出方法
倉賀野連、柴田 彰 (気象研)
- B43. TOPEX/POSEIDON 高度計資料を用いた黒潮流域における地衡流速鉛直構造の推定
—多重回帰式による EOF の振幅推定の試み—
諏訪 純 (電通大) 小峰裕子 (東海大海洋) 川崎 清 (遠水研)
- B44. 東京—父島間における TOPEX 高度計データと ADCP 流速データの比較
江淵直人、花輪公雄 (東北大理)
- B45. マイクロ波リモートセンサ (SCAT. SSM/I) による海上風データの検証
趙 朝方、中村暁子、久保田雅久、杉森康宏 (東海大海洋)
- B46. 小型定置ブイによる衛星同期観測
中埜岩男、藤森英俊 (海科技セ)